

ご挨拶

住職 伊藤信道

来光

第37号

浄土宗

迎 接 院

令和7年7月

HP



LINE



らいこう

『来光』第37号をお届けします。

平成29年4月佛教大学に入学した長男（晃希）が、学部4年・大学院4年の京都暮らしを終え、この春米子に戻ってきました。入学の頃には想像もしてなかった長期間の学生生活でしたが、入学式で当時の田中典彦学長が仰った「今日から諸君のあり方がすっかり変わるでしょう。毎朝学校に通う道、校舎の窓から見える景色、人間関係などです。仏教ではこれらのすべてを縁（えん）というのです。縁が変わればまた自分自身も変わるのです。自分が変われば、また縁も変わるのです。今日から真新しいこの学び舎が諸君の縁を広げ自分を磨く場となりますわけがあります。」のお言葉通り、よき縁（先生方・仲間たち）に恵まれた8年間でした。

現在迎接院の副住職として、朝の勤行や寺の行事にも一緒に勤めています。また平日は、市内の子ども圓の先生としても働いています。「子ども達はかわいいな」「今日こんなことがあった」と楽しそうに語っております。空いた時間には、書の作品を仕上げたり、友だちと出会ったりとなかなか忙しそうです。ようやく社会人となり、わからないことだらけであります。お気づきの点などありましたら、ご指導くださいますようお願い致します。

本年度から、ようやく社会人になりました。まだまだ至りません。僧侶の一人として、お寺のことや子ども圓での仕事、皆様との出会い、また自分の人生を精一杯大切に生きて参りたいと思います。よろしく願います。いつでも声をかけてください。合掌 晃希



この『来光』が、お寺と皆様方をつなぐものとなりますように。合掌

1 頁：ご挨拶、目次

2 頁：開山堂修繕工事とこれから先の供養の安心の為に①

3 頁：これから先の供養の安心の為に②、戦没者慰霊祭

4 頁：施餓鬼会・夏休み子ども寺子屋・本山参りの案内

5 頁：維持費決算報告、蓮の花完成しました

6 頁：文吾師匠新作落語「恋の浜緋」完成、棚経（たなぎょう）について

7 頁：選択集を読もう（最終回）

8 頁：秋彼岸（ゆみはま）「佛さまと弓浜手作り市」・浄焚会（じょうぼんえ）の案内、今後の日程



今年も紫陽花が美しい♡

◎開山堂とは

お寺を開いた僧侶を「開山^{かいさん}上人^{しやうにん}」と呼びます。迎接院の開山は伊藤^{りん}麟雄^{のう}上人です。昭和54年に開山と同じ場所に我が家の先祖も祀りたいと「開山堂」が建てられました。それ以来、迎接院では毎朝の勤行で開山堂の廻向も行ってきました。



◎開山堂外部柱修繕工事



開山堂一階の柱^{かこ}囲いに大きな亀裂が入りました。中の鉄骨が錆びて膨張したものと思われます。三役会・臨時役員会を開催し慎重審議の結果、修繕工事を行うことになりました。6月より工事に入っております。

この度の「開山堂外部柱修繕工事」にかかる費用はこれまで納めていただいた「祠堂^{しどう}」より支払いを行います（別途集金はいたしません）。

工事期間中にも、開山堂へのお参りは可能です。工事完了時期は未定ですが、お盆の頃にはキレイな形になっている予定です。



◎これから先の供養の安心の為に

最近迎接院でも将来のお墓の維持や供養の不安についての相談を受けることが増えてきました。日本社会の構造的変化（核家族化・少子化・高齢化等）が関係しているのでしょう。こんな時代だからこそ「変化に^あえていく”^へ変える^ゆ勇氣”と、^あえてはいけないものを^しっかりと”^{まも}る^り努力”の^ふ両方を^も持ち^つ續けていく」ことが大切だと思います。

迎接院では、個人のお墓を持ちにくい方のため既に共同利用墓「^{くわい}会^{かい}一^{いつ}處^{ちよ}」がございます。「お寺にある我が家（私）のお墓」として既に多くの方にご利用いただいております。

また供養が難しくなられた方のお寺が「永代供養」をお引き受けし、開山堂内に永代供養壇でご供養しております。自宅で位牌をお祀りできなくなった方には開山堂を「我が家のお仏壇」としてご利用いただいております。期間を定めてご遺骨をお預かりする納骨壇も開山堂に用意しております。



永代供養壇



共同利用墓

現在開山堂をお持ちでないお方も、ご縁のある方のお位牌を拝みに開山堂へお参りください。

< 3 頁に続く >

< 2 頁の続き >

◎お寺にご相談ください

お寺としては「できる人ができる形で供養を続けること」が望ましいと考えています。この度の開山堂修繕工事も「できる形を整える」為に行ったものです。将来のご供養のあり方に安心していただけるよう努めておりますので、遠慮なくご相談ください。



これからの供養のあり方を考える

～開山堂&共同利用墓「俱会一处」見学会～

○と き 10月25日(土) 9時～10時

※8時からの30分間「お念仏会」を行います。

○ところ 迎接院本堂・開山堂・境内



☆ご希望の方に浄土宗のつくったエンディングノート『縁の手帖』を
プレゼント（先着20名）します。既にお持ちの方はご持参ください。

戦後80年 夜見地区戦没者慰霊祭

6月7日、夜見遺族会主催の「戦没者慰霊祭」を勤修致しました。遺児の皆様も80歳以上になられますが、皆様の悲しみは、今尚癒えることはありません。法要の中で、戦没者の皆様のご戒名（神道の方はお名前）を読み上げますが、御霊のどのお方も自分の番を楽しみに、そしてご返事して下さっている姿が浮かびました。今年は、遺族さんご夫妻とその息子さんご夫妻にお孫さんまでお参りくださったご家庭がありました。ご家族皆さんが慰霊祭にお参りくださる過ごし方を、選んでくださったのですね。本当にありがたいことだと感動しました。平和を築くことの難しさに直面する現在ですが、93名の戦没者に思いを寄せ、自分自身を振り返り、平和や命について深く考える慰霊祭でございます。 合掌



平和和讃

①祈ります 祈ります

世界平和を祈ります

飢えと戦争といふ言葉

忘れさせてと祈ります

法然上人共生の

広まりたまえと祈ります

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

②願います 願います

全人類の幸せ願います

すべての命平等に

輝きたまえと願います

法然上人共生の

教えのままに願います

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

③求めます 求めます

花の浄土を求めます

怨み憎しみ悲しみが

花にかわれと求めます

法然上人共生の

同じ蓮を求めます

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

せ が き え 施餓鬼会のご案内

先祖廻向をお申し込みください

恒例の施餓鬼会を7月27日(日)10時^{かいえん}開筵^{ぶしゅう}で奉修^{おしょう}致します。今年も他寺院の和尚^{おしょう}さんにご^{ずいき}随喜^{ずいき}(参加)いただきます。詠唱も奉納予定です。但し、昨年同様お参りは初盆のお宅に限定し、法要終了後の会食も見送ります。何卒^{なにとぞ}ご理解のほどお願い致します。法要の様子は、^{フェイスブック}Facebook「紫雲山迎接院」(迎接院ホームページから入れます)上で紹介致します。オンラインでもぜひご参加ください。



先祖廻向^{えこう}は、塔婆^{とうば}の準備をしますので7月20日までにお申し込みください。先祖廻向^{えこう}の^{きようぎとうば}経木塔婆^{きようぎとうば}は、副住職が準備しています。また初盆廻向につきましては、別途ご案内致します。

夏休み子ども寺子屋を開催します！

毎年恒例の夏休み子ども寺子屋を行います。平日朝9時から1時間、学習の場を提供し一人学びを支援します。

参加は無料。弓ヶ浜小学校の児童は、学校から配布される用紙に記入して申し込んでください。弓ヶ浜小学校以外でご希望の方は、下記担当へご連絡ください。

担当：伊藤 紀子 ☎29-0809



年に一度の本山参り おてつぎ信行奉仕のご案内

◎とき 10月2日(木)～3日(金)

恒例の秋の本山参り「おてつぎ信行奉仕」は、昨年に続き今年も迎接院単独でお参りです。総本山知恩院にお参りし、法然上人^{そびょう}の祖廟に礼拝し奉仕します。お念仏を称え、作務(お掃除)をし、御法話を聞く、1泊2日のプチ修行です。自分自身の生活や態度を見つめ直して、信仰心を高めることを目指します。

2日目は、国宝の快慶作阿弥陀三尊立像を祀る「浄土寺浄土堂」、インドの故ネール首相から贈られた仏舍利を収めた「名古屋山仏舍利塔」、「灘菊酒造」で酒蔵料理の昼食も予定しています。ぜひ、ご一緒致しましょう。会費は4万円となっています。参加希望の方は8月末までにお寺までお知らせください。



令和6年 迎接院 維持費 決算報告（1月1日～12月31日）

令和7年3月9日に監査を受け、3月20日^{ふじえ}諷誦会後の臨時役員会にて承認を受けましたのでご報告申し上げます。お檀家の皆様には、ご協力ありがとうございました。引きつづき、迎接院護持の為に、ご理解ご協力をお願い致します。 単位：円

収入の部	金 額	備 考
維持費	2,546,000	
繰越金	149,816	
雑収入	9,290	電柱敷地料・利息
収入合計	2,705,106	

支出の部	金 額	備 考
宗費等負担金	473,000	
建物共済掛金	105,000	
消防用設備管理	30,800	点検2回
宮繕修理費	15,034	本堂額「紫雲山」修理、開山堂仏具代
会議費	59,037	定例役員会（7/2）、臨時役員会2回（3/21・7/27）
法要・教化・布教費	557,373	寺報2回・カレンダー・配布マッチ・浄土宗新聞・諷誦会・施餓鬼会・涅槃会・花まつり・秋彼岸会・浄梵会・吉水講・詠唱&写経サロン・檀信徒大会 子ども寺子屋・開宗850年慶讃事業 等
管理費	1,304,980	供物・香華燭・電話・コピー機・光熱水費・事務通信費・インターネット回線・便所汲取料・境内整備・消耗品 等
支出合計	2,545,224	

◎収入合計2,705,106円－支出合計2,545,224円＝159,882円（次年度繰越）

蓮の花、完成しました！

5月の寺子屋サロンで、蓮の花作りに初挑戦しました。「お盆に仏壇へお供えしよう！」
「今日早速仏壇に飾るわ！」と、皆さん喜んでくださいました。
しょうしきしょうこうおうしきおうこうしやくしきしやつこうびやくしきびやこうみみょうこうけつ
「青色青光黄色黄光赤色赤光白色白光微妙香潔」。
『阿弥陀経』の一節です。極楽浄土に咲く蓮の花の様子です。どの花もそれぞれの美しさで咲き、それぞれが相まってより美しく、良い香りに包まれております。私たちの生き方もそうありたいものです。そして、人としての命終えるときには、蓮の花に包まれて阿弥陀様の極楽浄土へ往生させていただくことを願います。





桂 文吾師匠新作落語「恋の弓浜緋」完成！

ゆみはまがすり
弓浜緋を題材とした文吾師匠の新作落語「恋の弓浜緋」、3月26日の迎接院作品展最終日に初おろしとなりました。弓浜緋と家族の絆を経の糸、恋愛話の謎解きを緯糸に織りなす落語は最高でした。米子で生まれた名作の誕生と思います。文吾師匠、ありがとうございました。

お礼の気持ちを込めて、弓浜緋工房の中村^{くく}括りさんにお世話になって「弓浜緋の座布団カバー」をご用意しました。



中村括りさんは、伝統工芸士でいらっしゃる中村武志さんです。中村さんの弓浜緋に、当山お檀家さんから頂戴した緋、緋の時間に織り上げた緋、それぞれをパッチワークにしたオリジナル座布団を使っての、記念に残る落語会になりました。皆様に感謝致します。

たなぎょう

棚経について

本年の予定は下記の通りです。他寺院の施餓鬼法要が1日から4日まで入っている関係で昨年と変更になっています。またあくまで「目安」ですので急な変更はご容赦ください。
「屋外でのお勤め」や「お寺にお参りしての棚経」をご希望の方はご連絡ください。

棚経の日程の問い合わせが例年多くあります。一応の目安としては、

- 1日：皆生・淀江・箕蚊屋方面、夜見1区＜源光寺施餓鬼＞
- 2日：尚徳・岸本・夜見1・2区＜黒坂光西寺施餓鬼＞
- 3日：福原・米原方面、夜見2・3区＜米子光西寺施餓鬼＞
- 4日：河崎・後藤ヶ丘・啓成・彦名方面、夜見2・3区＜心光寺施餓鬼＞
- 5日：夜見2・3区
- 6日：夜見1・2・3・6区、和田
- 7日：夜見新田・彦名・河崎方面
- 8日：境港・富益・河崎・両三柳方面

※9日：(予備日)

13日 18時～19時：「お寺にお参りしての棚経」をご希望の方

☆初盆のお宅は、13日～15日の間に廻ります

☆葬儀や天候、廻り順等の影響で変更となる場合もあります。



随時、迎接院ホームページ・公式LINEに掲載しますのでご確認ください。

選採集 第十六章
釈迦如来 弥陀の名号を舍利弗に付属したもう章

第16章段が『選採集』の結びの章段になります。

『選採集』全体の総結として、①三仏（阿弥陀様・お釈迦様・六方の諸仏）がお念仏をすすめ（選採）ておられること。そして②「聖^{しよう}道^{どう}門^{もん}を闍^{さし}いて浄土門に入り、雑^{ぞう}行^{ぎよう}を抛^{なげ}って正行に帰し、助業^{じよ}を傍^{かたわ}らにして正定業^{しようじようごう}を専^{もつ}らにすべし」と私たち凡^{ほん}夫^ぶの往生のためには阿弥陀様の本願の行であるお念仏を行すべき（選採）ことが説かれます。その根拠として③阿弥陀様の化^け身^{しん}（仏菩薩が、人々を救うために仮に人間に姿を変えること）と仰^あが

れる善^{ぜん}導^{どう}大^{だい}師^しが記された『観^{かん}經^ぎ疏^{しよ}』を挙げられます。

尊いお念仏を後の世まで伝えるように舍^{しや}利^り弗^{ほつ}に託されたことが説かれています。

正面の仏様はお釈迦様で、『阿弥陀經』を説かれているお姿です。

お釈迦様の左右には多くの菩薩やお弟子方が説法を聞き、受け入れている姿を表しています。

お釈迦様の正面で正座している僧は舍^{しや}利^り弗^{ほつ}尊者で、念仏を後の世まで伝えるようにた^{たく}託されている姿が描かれています。

迎接院所蔵の「選採集十六章之図」を本年8月本堂にて公開いたします。ぜひお参りください。



ゆみはま
秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」のご案内

第7回秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」を下記の日程で今年も開催いたします。よりよい手作り市（お祭り）になるように役員さんや出店者さん皆で知恵を絞っています。
詳しい情報は、随時「**迎接院ホームページ**」や公式LINEでお知らせしますのでお楽しみに！

日時：9月23日（火・秋分の日）

- ・マスク着用については参加者にお任せ。
- ・限定朱印あり。
- ・スタンプラリーを行います。
- ・子ども先着30名にかき氷プレゼント。



毎年家族総出で参加しています♡



中岡みずえさんが今年も来てくださいます。楽しいトークをお楽しみに。みずえさんしゃべってみらいや！

◇日程◇ 10:00～ オープニング
念佛行進
開白法要
11:00～ 出店紹介
13:30～ 弓浜緋ウオーク
15:30～ 結願法要
16:00頃 お祭り終了
内容は検討中 変更することもあります

じょうほん え
浄焚会のご案内

じょうほん え 浄焚会を下記の日程で行います。古くなったとうぼや白木の位牌を（いはい）たお焚きあげします。今年は令和5年にお亡くなりになった方の（いはい）た白木の位牌の焚きあげもします。皆さんのお念佛で、ご供養しましょう。



お店も
出るよ！

- とき 12月13日（土） 午後2時～
- ところ 迎接院本堂・境内にて

☆今後の日程☆

- 7月27日 せがき え 施餓鬼会（4頁）
- 8月1日 たなぎょう 棚経開始（6頁）
- 8月16日 せいれい 夜見町精霊送り
- 9月23日 ゆみはま 佛様と弓浜
手作り市（8頁）
- 10月2日～3日 本山参り（4頁）
- 10月25日 開山堂&共同利用墓
見学会（3頁）
- 12月13日 じょうほん え 浄焚会（8頁）